



はまおり

発行所
 神奈川県建設労働組合
 茅ヶ崎寒川支部
 寒川町一之宮3-38-16
 オザワビル201
 Tel 0467-72-2414
 発行人 宝満正弘
 編集人 土田章
<http://www.kanagawadoken.com>

携帯ホームページへはこちらからのコードを携帯のバーコードリーダ機能で読み取る(写真のように映す)とホームページのアドレスが出るのでそこからアクセスしてください。

SLに乗ったよ!

ポー!



厚生文化部主催バスツアー
 「バスで行くSL大井川鉄道の旅」
**家族みんなが笑顔の
 思い出の旅**

大人も、子どもも、笑顔があふれる組合のバス旅行。
 今年は、178人参加。静岡県の大井川鉄道で、SLに乗ってきましたよ。

毎年好評の組合のバスツアー。今年6月28日(日)静岡県の

大井川鉄道のSLに乗り、帰りは焼津の「お魚センター」でお買い物です。応募は殺到。昨年を大きく上回る178名が参加しました。



そして、駅に迫力の汽笛の音が響き、いよいよ乗車です。

バスに揺られること3時間半。新金谷駅の鉄道博物館で実物のSLに触れ、期待はふくらみます。初めて乗ったという子どもたちも大はしゃぎ。帰りは新鮮なお魚のお土産を。笑顔あふれる一日でした。

参加者アンケート 今後も楽しい企画を

共済を審査します。来年はあなたも参加してみませんか?

「大井川鉄道は以前から行

化部。その主催バスツアーは今年で6回目。来年も楽しい企画をたて



誰でもいい。それは自分も含める。無差別殺人という名の自爆テロはここ数年でどれだけ起きただろう。犯人の特異性に着目した分析は意味がない。▼一度経済的に転落したら受け皿のない「すべり台社会」。わかりやすい表現だ。最初はわずかなつまづきも、受け皿がないから、引き返せないとこころまで落ちていく。そして落ちた人を死へ追いやるだけ。すべり落ちた先でまた多くの玉突きをおこす。この11年間、毎年3万人を下らない自殺者とあわせ、今後どれほどの犠牲者を出す気か。▼経済失政の責任を問い、企業を太らせるだけの経済対策から根本的な転換を早急に行わねば。企業利益に偏らない経済対策の実現を総選挙で私たちの代表者を送ることで実現しよう(学)

地域に根ざした組合アピール

雨

の降らない住宅デーは2年ぶり。

6月14日(日) 茅ヶ崎市内5会場、寒川町



1会場、藤沢市
1会場の計7会場
で今年も住宅デー
を行いました。
天候
だけでなく、
タウンニュー
スや新聞折
り込みといっ
た宣伝方法
が功を奏し、

200人を超える来場者がありました。昨年引き続き、各会場がそれぞれの工夫で来場者を集め、例年を上回る募金額を集めました。

さむかわ中央公園入り口にテントを陣取った寒川分会(写真上)は、包丁研ぎ、まな板削り、無料の住宅・耐震相談に加えて、子ども向けのヨーヨー釣りや、分会長の自家栽培したジャガイモなどの野菜

で、3万円を超える募金を集めました。また、小出分会(写真下)も子ども向けのヨーヨー釣り、Nゲージなどを展示。会場を新たに(有)近岡タイル工業駐車場へ移した茅ヶ崎なぎさ分会(写真中央)はお餅つきなどで、会場を盛り



どの野菜で、3万円を超える募金を集めました。また、小出分会(写真下)も子ども向



今月の共済給付(6月審査分)

6月24日 支部厚生文化部にて審査 本部共済審査委員会給付決定

給付区分	氏名	分会名
私傷病 見舞傷病	お大事に	
	前田 秀男	茅ヶ崎西
	三嶽 栄子	茅北
	高野 貞二	堤
	石濱 功二	北陽
結婚祝金	おめでとう	
	小泉 守	堤
出産祝金	おめでとう	
	岡田 裕次郎	茅ヶ崎なぎさ
	近岡 雅幸	茅ヶ崎なぎさ
	近岡 美汐子	茅ヶ崎なぎさ
	加藤 亮	翼
入学祝金	おめでとう	
	中村 智哉	茅ヶ崎西
	石濱 功二	北陽

り上げました。来年もより多くの来場者で、地域に根ざした神奈川土建を大いに

アピールしていきます。今回の募金は全額地域の社会福祉協議会へ寄付されました。

10周年への道 あなたの10 みんなの10

「最終回」

組合の意味、そして少しずつみんなで。

最終回は、組合をそして建設業のこれからを担う青年部。代表して志賀由典部長(大工32才写真下)にインタビューしました。

過去の10年間、そしてこれからの10年についてどう思っています? まず仕事については、この10年単価は下がる一方だし工期も減らされています。現場によ

つては竣工から営業への引き渡ししが50日なんて言っている建売メーカーもあります。純利益は相当あるにもかかわらず、まだ我々からむしり取ろうとする。そんな企業が本当に増えてきましたね。



現場によって、事故とかではなく身体をこわす職人の話もよく聞きます。この間聞いた話では、手は遅いものの、腕がよい職人にもかかわらず、つなぎで入った仕事で、返って、単価が下がり工期が詰めるの、無理矢理応援を

かき、生活苦を理由に自殺した人の話を聞きました。自分たちに何かできることがあったのではないかと。本当に悲しい。

逆にこんな時代だからこそ、組合の意味、「闘う」ということがすこし見えてきた気がします。俺たちが何かしなければ、でも何ができるのか、そんなモヤモヤした、現実を受け止めにくい10年でした。